

令和元年 8 月 8 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学病院事務課
課長 青山 賢二
電話 052-858-7104
(名古屋市政記者クラブと同時発表)

名古屋市立大学と国立がん研究センターが包括連携協定を締結

公立大学法人名古屋市立大学と国立研究開発法人国立がん研究センターは、がん研究の一層の発展に資するため、教育、研究、医療等に関して連携を推進し、学術及び医療の発展並びに人材の育成に寄与することを目的として、下記のとおり包括連携協定を締結しましたので、お知らせします。

記

1 締結日

令和元年 7 月 23 日 (火)

2 協定の目的

がんに関わる人材の育成、国際的ながん研究の推進と医療や患者ケアに資する新技術の創造を目的に、教育・研究・医療において相互の情報交換、人事交流と共同研究の推進を図る。

3 包括連携協定の内容

- (1) 教育に関すること
- (2) 研究に関すること
- (3) 医療に関すること
- (4) 社会貢献に関すること
- (5) 人事交流、情報交換に関すること
- (6) その他両者が必要と認めること

4 協定に基づく主な取り組み事項

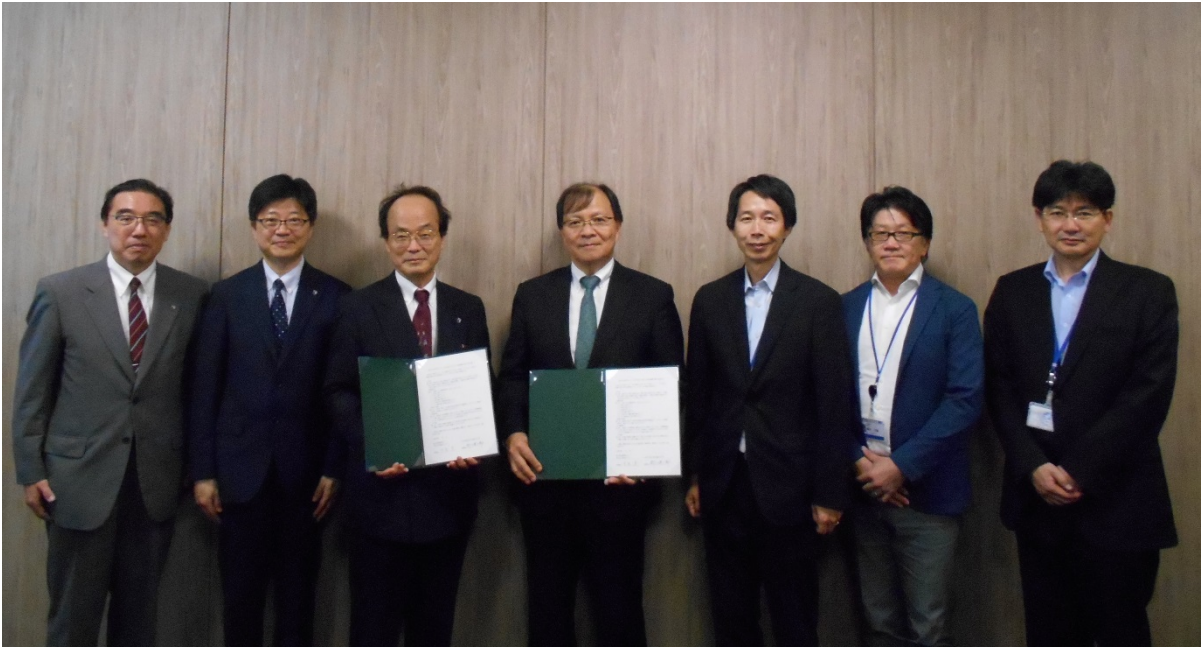
- ・共同研究（基礎・臨床・トランスレーショナルリサーチ・創薬・医療経済・医療デザインなど）の推進と国際貢献
- ・医療還元を目的とした情報交換（希少がん、難治がん、ゲノム医療、治験、ケア情報など）
- ・人事交流の活性化によるがん専門職（多職種）の育成
- ・がん診療・研究に興味を持つ学生の短期研修の実施
- ・社会への情報発信や患者会活動における協力



左から、名古屋市立大学郡理事長、国立がん研究センター中釜理事長



左から、名古屋市立大学郡理事長、国立がん研究センター中釜理事長



締結式にて。左から、青山名古屋市立大学医学・病院管理部事務課長、飯田名古屋市立大学病院がん診療・包括ケアセンター長、郡名古屋市立大学理事長、中釜国立がん研究センター理事長、武井国立がん研究センター理事長特任補佐、廣田国立がん研究センター統括事務部長、秋山国立がん研究センター人事部人事課長